

平成 30 年 12 月 26 日

養父市議会議長 深 澤 巧 様

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会
委員長 足 立 隆 啓

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会中間報告書

本委員会の所管事務につき、調査したことを次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 平成 30 年 12 月 11 日（火）
- 2 調査事項 (1) 養父市文化会館（仮称）基本設計について
(2) 養父市文化会館（仮称）整備事業の工程について
- 3 調査内容

委員会は、平成 30 年 12 月 11 日（火）に、市長、文化会館建設推進室及び CM 業務受託者である阪急コンストラクション・マネジメント株式会社から、資料の提供と説明を受け調査を行った。

(1) 養父市文化会館（仮称）基本設計について

基本設計がほぼ完了し、計画概要、配置図、平面図、完成予想図などの説明を受けた。

基本設計の概要は、ホール棟（延床面積）3,510.86 平方メートル（鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造）3 階建、図書館棟 841.75 平方メートル（鉄筋コンクリート造）平屋建、全体 4,352.61 平方メートルとなっている。

ホールは、音響効果を高めるため天井高をステージから 12 メートルと高くし、生演奏などコンサート等に適した仕様となっている。維持管理費の軽減に配慮し、足元から吹き出す効率的な暖房設備などが採用されている。

図書館棟は、市民会議や市民ワークショップの意見を反映した部屋の配置としている。

(2) 養父市文化会館（仮称）整備事業の工程について

施工者選定に当たり公募を行い、応募者には基本設計図書を提示、1 月 15 日までに提案書等の提出を受け、2 月中旬に審査委員会を開催し優先交渉権

者を決定、2月下旬には仮契約を締結し、3月議会に上程する予定である。

〈まとめ〉

養父市文化会館（仮称）の本工事が本格的に動き出す。実施設計に当たっては、建設後の維持管理経費を可能な限り抑制するとともに災害時に強い設備導入の検討が望まれる。

また、施設内の農業用水路については、地元水利組合など関係者と協議し理解を得た上で進めることが肝要である。

本委員会は、まちづくりの拠点となる養父市文化会館（仮称）の施設整備に向け、更に調査を行う予定である。